

重要インフラにおける分野横断的演習 ～【CIIREX 2010(シーレックス 2010) *1】～の実施について

内閣官房情報セキュリティセンターは、国民生活や企業活動の安全・安心を確保するため、IT障害発生時における重要インフラサービスの維持や早期復旧に役立てることを目的に、平成18年度から演習を実施しています。

第5回目となる本年度は、昨年度に引き続き、分野横断的な官民の情報共有や連携体制の検証を実施するとともに、新たに、一部の事業者が自職場から参加する自職場演習を実施します。

1. 実施日時・場所

平成22年12月13日（月）12：00～18：30
株式会社三菱総合研究所 会議室
（東京都千代田区永田町2-10-3）

2. 参加予定機関等

【重要インフラ事業者等】 10分野（情報通信、金融、航空、鉄道、
電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流）

【セプター】 10分野の14セプター*2

【分野横断的演習関係有識者】

【政府】 重要インフラ所管省庁

（金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省）
内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）

合計 130名程度が参加予定

*1: 「CIIREX」は「重要インフラにおける分野横断的演習」の略称。以下の英文の頭文字。

CIIREX 2010: Critical Infrastructure Incident Response Exercise 2010

*2: 「セプター（CEPTOAR）」とは、各重要インフラ分野で整備されている情報共有体制のこと。情報共有・分析機能を示す英文の頭文字。

CEPTOAR: Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response

3. 演習の概要

本年度は、国内で大規模通信障害が発生したことを想定し、重要インフラ分野に起こり得る現象についての情報共有や、通信障害に伴う IT 障害の未然防止・被害の最小化等、各分野のサービス維持や早期復旧に関する演習を実施します。

あわせて、事業者の一部が自職場の環境から演習に参加し、実際の意志決定ルートの実効性等を検証する予定です。

4. 重要インフラ事業者等の検証課題

- ① 通信障害発生から解消までの技術的対応
- ② 関係部署・外部事業者との連絡のあり方
- ③ 事業継続計画（BCP）の発動基準
- ④ 自職場環境における演習の効果（本年度の新たな取り組み）

(参考)

○2009年2月、IT戦略本部の情報セキュリティ政策会議（議長：内閣官房長官）において、我が国における重要インフラ防護の総合的なアクションプラン（3ヶ年計画）として、「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第2次行動計画」（以下「第2次行動計画」と言う。）が決定されました。

○第2次行動計画は、「ITの機能不全が引き起こすサービスの停止や機能の低下等」（IT障害）から重要インフラを防護するための計画であり、①安全基準等の整備及び浸透、②情報共有体制の強化、③共通脅威分析、④分野横断的演習、⑤環境変化への対応の5つを柱とし、官民で緊密に連携を取りつつ、情報セキュリティ対策に取り組んでいます。分野横断的演習は、この行動計画に基づいて実施されるものです。

○第2次行動計画では、「重要インフラ」を、「情報通信」、「金融」、「航空」、「鉄道」、「電力」、「ガス」、「政府・行政サービス（地方公共団体を含む）」、「医療」、「水道」及び「物流」の10分野としています。

【問い合わせ先】

内閣官房情報セキュリティセンター

内閣参事官 大津 光孝

参事官補佐 松本 和重

電話：03-3581-8903

第2次行動計画における分野横断的演習の目標と概要

第1次行動計画(2006~2008年度)

＜2006年度＞
官民連携の仕組みづくり

研究的演習
演習の実施概念、課題設定、手法について、参加者への理解を目的に演習を実施

机上演習
災害に伴うIT障害の発生を想定し、会議形式の演習を実施

＜2007年度＞
官民連携体制の機能向上

機能演習
サイバー攻撃に伴うIT障害の発生を想定し、参加者が個室に分かれ、メール等を利用し演習を実施

＜2008年度＞
官民連携体制の実効性向上

機能演習
より現実に近い状況で参加者の対応を検証するため、IT障害の発生原因を関係者間の情報共有で特定し、各分野のサービス維持や早期復旧等の対応に繋げる演習を実施

分野横断的な演習手法に関する知見

第2次行動計画(2009~2011年度)

分野横断的な重要インフラ防護対策の向上

＜2010年度＞
テーマ: 大規模通信障害

機能演習(自職場環境を含む演習)

大規模通信障害が発生したことを想定し、重要インフラ分野に起こり得る現象についての情報共有や、通信障害に伴うIT障害の未然防止・被害最小化等、各分野のサービス維持や早期復旧に関する演習を実施する予定。あわせて、事業者の一部が自職場の環境から演習に参加し、実際の意思決定ルートの実効性等を検証する予定。

＜2009年度＞
テーマ: 広域停電

機能演習

広域停電が発生したことを想定し、重要インフラ分野に起こりうる現象についての情報共有や、停電に伴う通信障害への対応等、各分野のサービス維持・早期復旧に関する演習を実施した。



机上演習状況



機能演習状況